

機械設計科

スポーツ実習2

対象	2年次	開講期	後期	区分	選4	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	各スポーツインストラクター等	実務経験	有	職種	インストラクター等						

授業概要

スポーツを通じ心身を鍛え人間力を高めます。

到達目標

健康の維持増進やレクリエーションを目的として、いつでも、誰でも、どこでも自分のライフスタイルや興味に応じてスポーツに取り組める基礎を作ります。

授業方法

①安全に怪我をせずスポーツに参加できるようになる。②スポーツマンシップに乗っ取りルール・マナーを身につけ楽しく競技に参加する。③参加競技の楽しさ・喜びを知り、生涯スポーツとして行えるようにする。

成績評価方法

授業は、オリエンテーション時の講義、および実技指導時における学生の参加姿勢を対象として評価を行う。

履修上の注意

日々の体調管理をしっかりと行い、必ず授業に出席すること。教習中の私語やふさわしくない授業態度、遅刻・欠席などには厳しく対応する。安全に注意し、必要に応じヘルメット、ゴーグル、グローブは必ず着用すること。大自然の中であるので単独行動、危険な行為は命にかかることがある。絶対にしてはいけない。最少携行人数に満たなかった場合には、別の方で代替したり開講を取りやめることもある。

教科書教材

オリエンテーション時に配布する「実習要項」を熟読のこと。

回数	授業計画
第1回	集団行動と安全管理
第2回	スポーツ実技①
第3回	スポーツ実技②

機械設計科

スポーツ実習 2

第4回

スポーツ実技③

対象	2年次	開講期	後期	区分	選4	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	インターンシップ先企業担当者			実務 経験	有	職種	人事・人材育成・各技術職能担当				

授業概要

企業で就業体験することで、仕事への取り組み方や考え方を学びます。作業現場での人間関係なども体験します。

到達目標

キャリアデザイン系の科目で学んだ社会人・組織人としての行動やマナーの基礎をもとに、実践的に社会人としてのマナーや基礎知識、新しい技術の進展に対応できる柔軟な思考と創造性の習得をめざす。インターンシップで企業・社会の仕組みを実体験することで、職業選択の際に役立てることが出来るようになることを目標とする。

授業方法

インターンシップ先による

成績評価方法

レポート40%授業内容の理解度を確認するために実施する平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価するその他 40% インターンシップ先担当者からの「評価報告書」

履修上の注意

必ず事前にインターンシップ企業、担当者、実施時期を教員に申し出を行い許可を得ること。事後、もしくは既にインターンシップ開始後に申し出た場合、単位認定はできない。参加者は、必ずインターンシップ保険に加入のこと。

教科書教材

教材はインターンシップ先による

回数

授業計画

第1回

実習内容はインターンシップ先による